

見えない資産が、 最大の脆弱性になる

PentaTrail — AIネイティブの CTEM / ASM プラットフォーム

PentaTrail とは

外部に公開されたドメイン・IP・ポート・クラウド資産を、継続的に発見・評価・対処する CTEM / ASM プラットフォーム。管理台帳に載っていない"見えない資産"こそ、攻撃者が最初に狙う場所です。攻撃者と同じ視点で毎日監視し、危険な順に「まず直すべき」を示し、経営に数字で報告します。

0日

公開から大規模悪用までの猶予

エッジ機器の KEV(悪用が確認された脆弱性)の
中央値 / Verizon DBIR 2025

84%

外部公開機器からの侵入

ランサム侵入経路が VPN・リモートデスクトップ等 / 警察庁 2025上半期

73%

管理外資産が原因

管理外の資産に起因するインシデントを経験 /
Trend Micro・CSO Online 2025

主な特長



確定的な Discovery

DNS・CT Log・WHOIS・逆引きIP。AIの推論に依存せず技術的裏付けのある資産だけを発見。



脅威エクスポージャーリスクで優先度づけ

CVSS・EPSS・エビデンスグレード×業務影響(BI)で「まず直すべき順」を算定。



AI 対処ガイダンス

脆弱性ごとに影響・対処方針・暫定緩和策をAIが生成。PDFで配布。



日次スキャン

毎日スキャンし、翌日には新しい資産や開いたポートを検知。



AIディープスキャンで実証

AIが検証コードを自動生成し、非破壊で攻撃の"成立"を確認。誤検知を減らす。



MCP 連携

承認した外部ツールから攻撃面データを直接読み書き。



経営ダッシュボード。セキュリティスコア(前回比)・危険度分布(S〜D)・脅威エクスポージャーリスク・AIによるCISO向けインサイトを一枚で。

PRICING

シンプルな2プラン

	ASM ¥40,000/月 見つけて、監視して、危険な順に並べる	CTEM ¥68,000/月 実際に確かめ、直しきって、経営に見せる
外部資産の自動発見・日次スキャン	✓	✓
危険度づけ(KEV / EPSS / BI)・AI対処ガイダンスの閲覧	✓	✓
脆弱性の実証(AIディープスキャン)	—	✓
対処タスクの運用・追跡	—	✓
経営報告レポート(スコア・トレンド)	—	✓
MCP 連携 ・ ドメイン3つ・5ユーザー込み(サブドメイン無制限)	✓	✓

表示価格はすべて税抜・月額。攻撃面が広い会社ほど、1資産あたりの負担は軽くなります。

COMPANY

会社紹介

会社名	株式会社ペンタコン研究所 (Pentacon Research, Inc.)
代表取締役	平舘 一哉
設立 / 資本金	2026年2月 / 1,000万円
本店所在地	東京都中央区日本橋茅場町二丁目17番6号
事業内容	情報セキュリティ分野における SaaS の企画・開発・提供／調査・分析・コンサルティング／情報システム・クラウド・AI 関連技術の研究開発



代表取締役 / CEO

平舘 一哉 Kazuya Hiradate

野村総合研究所入社後、NRIセキュアで20年以上サイバーセキュリティ事業に従事。マネージドセキュリティサービス事業やコーポレートセキュリティ管理部門で部長を歴任。その事業開発およびガバナンスの知見を、AI駆動開発の設計思想として PentaTrail に実装しています。

まずは自社の攻撃面を、外から確かめる

最短5分で登録でき、数時間で初回の攻撃面が見えます。

①登録(5分) → ②自動発見(数時間) → ③確認(その場で可視化)



pentatrail.co/ctem

14日間 無料トライアル